

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年7月12日
【四半期会計期間】	第16期第1四半期（自 2019年3月1日 至 2019年5月31日）
【会社名】	株式会社レナウン
【英訳名】	RENOWN INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神保 佳幸
【本店の所在の場所】	東京都江東区有明三丁目6番11号TFTビル東館6階
【電話番号】	03-4521-8136
【事務連絡者氏名】	管理統括部経理部長 長谷川 眞澄
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区有明三丁目6番11号TFTビル東館6階
【電話番号】	03-4521-8136
【事務連絡者氏名】	管理統括部経理部長 長谷川 眞澄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期 連結累計期間	第16期 第1四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 2018年3月1日 至 2018年5月31日	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2018年3月1日 至 2019年2月28日
売上高 (百万円)	14,254	15,515	63,664
経常利益又は経常損失() (百万円)	137	934	1,998
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失() (百万円)	267	794	3,942
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	130	792	3,801
純資産額 (百万円)	25,594	22,715	21,923
総資産額 (百万円)	43,212	40,667	39,713
1株当たり 四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額() (円)	2.65	7.86	38.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	59.2	55.9	55.2

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失が計上されている回次は記載しておりません。また、第16期第1四半期連結累計期間については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 当連結会計年度より、決算期を2月末日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、第16期第1四半期連結累計期間は、当社並びに2月決算であった連結対象会社は、2019年3月1日から2019年5月31日までの3カ月間を、従来より12月決算会社である連結対象会社は2019年1月1日から2019年5月31日までの5カ月間を連結する変則的な決算となっております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の分析

経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年5月31日まで）におけるわが国経済は、雇用や所得環境は堅調に推移したものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題の影響などで、先行き不透明な状況となっております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、消費者の衣料品に関する購買行動の多様化が進むなか、生活必需品の値上げなどを受け、消費者の節約志向は依然として根強く、厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループはお客様中心の企業活動に、より一層磨きをかけ、お客様との結びつきを強め、ファンを増やし、お客様へより高い価値を提供し続けていくことを目指し、中長期経営戦略の基本方針である「顧客接点の強化と顧客満足の上昇」、「新しい顧客の獲得」、「企業価値向上と経営基盤強化に向けた施策」を推進してまいりました。

当第1四半期につきましては、主力販路である百貨店向け販売は苦戦しました。一方で、商品オペレーションの効率化に努めたことにより売上高及び売上利益は増加しました。また、店舗運営の効率化等により販売費及び一般管理費が減少し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加しました。

以上により、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は155億1千5百万円、営業利益は8億2千7百万円、経常利益は9億3千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億9千4百万円となりました。

財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9億5千4百万円増加し、406億6千7百万円となりました。これは、商品及び製品の増加、並びに流動資産（その他）の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億6千2百万円増加し、179億5千1百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加、並びに未払費用の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて7億9千2百万円増加し、227億1千5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	320,000,000
計	320,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2019年7月12日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	101,307,449	101,307,449	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株で あります。
計	101,307,449	101,307,449	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年5月31日	-	101,307,449	-	18,471	-	7,217

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 179,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 100,699,100	1,006,991	-
単元未満株式	普通株式 429,049	-	-
発行済株式総数	101,307,449	-	-
総株主の議決権	-	1,006,991	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が40株含まれております。

3 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己保有株式が次のとおり含まれております。

自己保有株式 株式会社レナウン 73株

【自己株式等】

2019年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社レナウン	東京都江東区有明三丁目 6番11号TFTビル東館6階	179,300	-	179,300	0.17
計	-	179,300	-	179,300	0.17

(注) 1 このほか、株主名簿上は旧株式会社レナウン名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が2019年2月28日現在100株あります。

なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,083	8,543
受取手形及び売掛金	11,189	11,826
商品及び製品	6,501	8,687
仕掛品	559	507
原材料及び貯蔵品	468	584
その他	2,388	1,006
貸倒引当金	70	82
流動資産合計	30,121	31,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,976	6,988
減価償却累計額	6,541	6,488
建物及び構築物(純額)	434	500
機械装置及び運搬具	825	826
減価償却累計額	740	747
機械装置及び運搬具(純額)	85	78
土地	788	788
その他	2,486	2,505
減価償却累計額	2,429	2,421
その他(純額)	56	84
有形固定資産合計	1,364	1,451
無形固定資産		
商標権	5,193	5,128
その他	41	67
無形固定資産合計	5,235	5,195
投資その他の資産		
投資有価証券	296	267
出資金	959	959
長期貸付金	50	56
差入保証金	1,380	1,390
繰延税金資産	286	245
その他	102	106
貸倒引当金	83	80
投資その他の資産合計	2,992	2,945
固定資産合計	9,591	9,592
資産合計	39,713	40,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,895	5,085
短期借入金	2,275	2,185
1年内返済予定の長期借入金	498	498
未払費用	2,721	2,196
未払法人税等	366	177
返品調整引当金	610	319
賞与引当金	125	247
その他	244	406
流動負債合計	10,737	11,116
固定負債		
長期借入金	794	670
繰延税金負債	26	0
役員退職慰労引当金	15	7
退職給付に係る負債	5,454	5,410
その他	761	746
固定負債合計	7,051	6,835
負債合計	17,789	17,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,471	18,471
資本剰余金	23,257	23,257
利益剰余金	19,410	18,615
自己株式	128	128
株主資本合計	22,189	22,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	-
繰延ヘッジ損益	59	22
為替換算調整勘定	39	17
退職給付に係る調整累計額	278	263
その他の包括利益累計額合計	266	268
純資産合計	21,923	22,715
負債純資産合計	39,713	40,667

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	14,254	15,515
売上原価	6,258	6,896
売上総利益	7,995	8,619
販売費及び一般管理費	8,029	7,791
営業利益又は営業損失()	34	827
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	0	0
受取地代家賃	86	87
持分法による投資利益	2	-
その他	37	44
営業外収益合計	129	132
営業外費用		
支払利息	7	9
持分法による投資損失	-	4
為替差損	206	-
その他	18	10
営業外費用合計	232	24
経常利益又は経常損失()	137	934
特別利益		
投資有価証券売却益	-	50
特別利益合計	-	50
特別損失		
減損損失	0	-
投資有価証券評価損	-	104
特別損失合計	0	104
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	138	880
法人税、住民税及び事業税	28	43
法人税等調整額	100	41
法人税等合計	129	85
四半期純利益又は四半期純損失()	267	794
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()	267	794

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	267	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	86
繰延ヘッジ損益	168	81
為替換算調整勘定	39	22
退職給付に係る調整額	9	14
持分法適用会社に対する持分相当額	7	0
その他の包括利益合計	137	1
四半期包括利益	130	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130	792
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結決算日の変更に関する事項)

当連結会計年度より、当社及び従来2月決算であった連結子会社は、決算日を2月末日から12月31日に変更し、同時に連結決算日を2月末日から12月31日に変更しております。この変更は、親会社である山東如意科技集団有限公司と決算期を統一することにより、経営計画の策定や業績管理など経営及び事業運営の効率化を推進することを目的とするものであります。

当該変更に伴い、12月決算である連結対象会社については、12月末日の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってりましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るために、当第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間については、当社及び従来2月決算であった連結対象会社は、2019年3月1日から2019年5月31日までの3カ月間を、12月決算である連結対象会社は2019年1月1日から2019年5月31日までの5カ月間を連結対象期間とする変則的な決算となっております。

なお、12月決算である連結対象会社における2019年1月1日から2019年2月28日までの損益については、四半期連結損益計算書を通して調整する方法を採用しており、同期間の売上高(個別財務諸表の合計額。以下同じ。)は377百万円、営業利益は42百万円、経常利益は50百万円、税引前四半期純利益は50百万円です。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社について、従業員の退職時に発生する支払債務に対して、債務保証を行っております。

なお、当社が下記の会社の親会社であった期間に係る債務を保証するものであります。

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
南通麗娜服装有限公司	131百万円	119百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
減価償却費	210百万円	105百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	2円65銭	7円86銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失() (百万円)	267	794
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る 親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (百万円)	267	794
普通株式の期中平均株式数(株)	101,129,591	101,127,898

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年7月12日

株式会社レナウン
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 永澤 宏一

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤田 英之

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社レナウンの2019年3月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社レナウン及び連結子会社の2019年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。